

2018HKFA レフェリーキャラバン道央 報告書

研修会名 平成30年度（公財）北海道サッカー協会 2018HKFA レフェリーキャラバン道央

日 時 2019年2月17日（日）

会 場 岩見沢市生涯学習センター「いわなび」

講 師 山崎 裕彦（RDO北海道審判デベロプメント・オフィサー、JFAサッカーS級審判インストラクター）

岡田 渉（HKFA審判委員会指導者部、HKFAサッカー2級審判インストラクター、地域フィジカルコーチ）

柴田 靖士（HKFAサッカー2級審判インストラクター）

参加者 サッカー2級インストラクター8名、サッカー3級インストラクター8名、

サッカー3級審判員17名、サッカー4級審判員10名

平成30年度(公財)北海道サッカー協会2018HKFAレフェリーキャラバン道央が、岩見沢市生涯学習センター「いわなび」にて、空知、小樽、千歳、北空知から総勢43名の参加者より開催されました。

講義①では、2名の2級インストラクターが担当し、対角線審判法についての講義と動きとポジショニングについてを、サッカー3級、4級審判員を対象にプレゼンを担当していただきました。動きとポジショニングでは、プレゼン担当者がJリーグ主審担当審判員であったこともあり、ご自身の経験からのアドバイスが盛り込んだ内容の講義となりました。

講義②③では、山崎RDOによる競技規則の改正の説明をクイズ形式で確認。その後、JFAが掲げている将来構想についての説明がありました。道央キャラバンでは午後からの講義④をインストラクターと審判員に分散し、インストラクターは、実際の試合映像をみてレフェリング分析を4グループに分かれてレフェリングを分析し、良い点、改善点を付箋に書き出し、それを模造紙にまとめ、発表、すりあわせ等を行い、審判員は、岡田渉フィジカルコーチによるフィットネストレーニングを行いました。「トレーニングのバリエーション」をテーマに、最初はリラクゼーションから効果的なウォームアップ、徐々に負荷をかけながらスプリントを多種多様に取り入れ、最後はグループ対抗トレーニングを行いました。講義⑥は試合分析力として、考慮事項を用いてレフェリングを的確に分析することを目的とした講義を行いました。すべての講義が充実とした内容ばかりで、道央ブロックが一体となってこの研修会に取り組んでいる様子が印象的でした。改めましてこの道央キャラバンにご参集いただきました参加者の皆様、会場等の手配など、ご尽力いただきました空知地区協会の皆様には大変お世話になりました。

講義①-1【審判理論】

森宏介 サッカー2級審判インストラクター

日 時	2 / 17 (日)
9:30	集合・開講式
10:00	講義 1-1 審判理論
10:25	講義 1-2 審判理論
10:50	講義 2 競技規則改正
11:35	休憩
11:45	講義 3 JFA未来構想
12:05	昼食
13:00	講義 4
	[インストラクター] 評価のすり合わせ
	[審判員] フィットネストレーニング
14:25	講義 5 審判員の指導法
15:45	講義 6 Analysis
16:45	解散

